

# 上山口小だより

かしこく・なかよく・たくましく

平成 28(2016)年 6月 2 9日

第 4号

葉山町立上山口小学校

編集発行 中根正彦

TEL 046-878-7529

雨と曇りの毎日が続いておりますが、プール指導が開始となり、晴れ間には、子どもたちの歓声がプールに響いています。いつも本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、感謝いたしております。

## 7月の予定

- |    |        |                          |
|----|--------|--------------------------|
| 7月 | 3日(日)  | 5年キャンプ 1日目               |
|    | 4日(月)  | 5年キャンプ 2日目               |
|    | 5日(火)  | 5年生振替休業                  |
|    | 7日(木)  | 児童朝会ふう                   |
|    | 9日(土)  | P T A 育樹活動(午前中)          |
|    | 12日(火) | クラブ活動                    |
|    | 14日(木) | 給食最終日※ 音楽朝会 3年 レインボー昼あそび |
|    | 15日(金) | 短縮 3時間                   |
|    | 18日(月) | 海の日                      |
|    | 19日(火) | 安全と命について考える日 短縮 3時間      |
|    | 20日(水) | 1学期終業式 短縮 3時間            |
|    | 21日(木) | 夏季休業                     |
| 9月 | 1日(木)  | 2学期始業式 短縮 3時間            |



※お詫び… 4月に出しました「学校だより」の年間予定において、給食最終日が、7月15日(金)となっておりましたが、誤りでした。**14日(木)が給食最終日**となります。大変申し訳ございませんでした。お詫びの上、訂正させていただきます。

## 工事について

学校付近旧道の河川工事の関係で、7月以降旧道の一部が通行止めとなる日が出てきます。通行止めとなりますと、新沢方面から旧道を通して学校に入ることができなくなります。その場合は、規制されている「上山口小学校入り口」信号から入ることが可能です。車両の通行規制のため、歩行者は通行可能です。



現段階で、わかっている通行止めは、**7月2日(土)の 9:00~17:00**ですが、今後も、工事の進捗状況により、通行止めが必要になってくるそうです。

通行止めの日程については、その都度お手紙やメール配信等でご連絡いたします。

ご了承ください。



子どもたちを支えてくださっています！



前号でもお知らせいたしましたが、子どもたちの知らないところで、多くの地域の方が学校を支えてくださっています。子どもたちが「やきいも大会」をするためのさつまいもの畑では、〇〇さんが半日もかけ耕作してくださいました。また、しいたけの「ほだ木」の移動を指導して下さったり、校舎裏の草刈りをして下さったりしたのは「葉山ふるさとかるた」の制作もされている〇〇さん、タケノコ掘りでお世話になった〇〇さんです。

機械を入れるので子どもたちに危険がないよう、放課後や休日に畑を耕して下さっていますので、子どもたちはこのことを知りません。そこで、子どもたちには朝会のときに、写真を使って皆さんを紹介しました。そして、子どもたちには、感謝の気持ちの表し方の一つが「あいさつ」であることを伝えています。

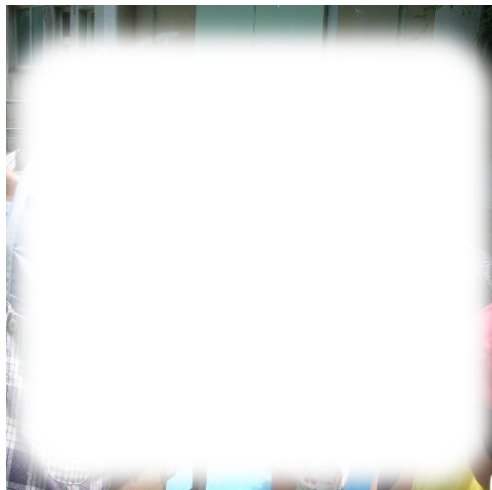
### 麦を収穫したよ！



2年生が、収穫した麦を脱穀しました。この日は脱穀機(だっこくき)や唐箕(とうみ)を使って、麦の穂から麦の実を取り出す作業を行いました。

講師は、〇〇さんと〇〇さんです。唐箕というのは、脱穀した穀物を上から落とし、横から風を当てて軽い茎や葉などのごみを吹き飛ばして重い実だけを下に落とす仕組みの道具です。今は博物館などにも展示されていますが、実際にこれを使って麦の穂を選び分けることができるのは、とても貴重な体験です。

また、この日は保護者の方にもお手伝いいただきました。今年は例年になくたくさんの実が収穫できました。



さて、この麦を使ってこれからどんなものができるのでしょうか。まだまだ子どもたちの楽しみは続きそうです。



## 命の授業、ふれあい体験教室



5年生が、「ふれあい体験教室」に参加しました。命が育つ過程について知り、その大切さを実感させるのがねらいです。

助産師さんが講師となってお話をしてくださったり、妊婦さんが体験を伝えてくださったりしました。

妊婦さんは、こんなに大変だったのだ！重りの入った「妊婦体験ジャケット」を着て、妊婦さん体験をする子どもたち。新生児の抱っこ体験。子宮袋を使って赤ちゃん体験。妊婦さんからは、生活上の様々な変化や赤ちゃんに対する思いについて聞きました。

これらの体験を通じて、命の大切さについて考え、親の子に対する思いの一端を知る機会となればよいと思っています。



見つけ  
えまい  
ないが  
よ。

かわい  
い！  
でも、  
か  
ず  
い  
い  
な  
！



## インターンシップ(職場体験)で来校中

前号でもお知らせいたしましたが、インターンシップで上山口小学校に体験に来ている  さんです。ご専門は電気電子工学ということで、子どもたちには理科の授業、特にロボットの学習に関わってもらっています。

## ロボットプログラミングの授業

学校の授業で常々思っていたことは、今の授業の多くが、児童がつまずかないように手立てが講じられているということです。指導方法の進歩は素晴らしいことですが、一方で失敗や間違える経験が少なくなることにもなります。時には意図的に失敗経験をさせる授業があっても良いのではないかと思います。失敗しても辛抱強く挑戦する、頑張るといことはとても大切なことで、これも「生きる力」の一つだと思っています。



さて、そんな思いの中、理科の電気の学習の発展として行われた5・6年生のロボットプログラミングの授業を見せてもらいました。この授業では、先に紹介したインターンシッ

斗大学

の学生さん2人が授業を手伝ってくれました。

以下は、体験した子どもたちの感想です。



「ロボット学習をやっていて何回もやりなおせる所がよかったです。ガラスをわってしまっ  
たらもう直せないけど、ロボットのプログラミングは何度でもやり直せたからです。」

「しこうさくごして、どんどん上手になっていった。パートナーがいたからそうだんしたり、  
『どうやったらいいかな』『15はどう』とか話して成功におわって…《略》」



「まちがえたときに1回1回あたまをつかって考えるのが楽しかった。チ  
ームの人とコミュニケーションがとれるようになった。ロボットは何回ま  
ちがえてもプログラミングでやりなおせるのでよりいい達成感もてた」

「今日ロボット学習をして、さいしょはやり方がまったくわかりませんで  
した。3人で協力しあったからできたんだと思います」

「仲まと、『ここはこうして』とかできなかつたときにははげましあえた。《略》前は、ロボ  
ットにあまり興味がなかつたけどじゅぎょうでやってみて、はじめてロボットの楽しさを  
しれた」

「むずかしいしがんばったけどゴールできなくて、くやしいし、もっとやりたいと思うけど  
チームの考えやその他の人の考えをきいてじぶんのいけんをいって実行するというこ  
とでいつもよりも人とのコミュニケーションをとることができた《略》」



子どもたちの感想から、「失敗体験」をしてもくじけずに頑張ることができたという充実  
感が感じられました。また、グループで行ったことで、P Cの使用が、文字通りのパーソ  
ナル(個人の)コンピュータとしてでなく、仲間とのコミュニケーションがしっかりと取れてい  
たのが素晴らしいと思いました。「もう終わり？」子どもたちのこの言葉が、充実感をよく  
表しています。



見  
学！  
4  
年  
生  
も

文  
字  
通  
り、  
身  
を  
乗  
り  
出  
し  
て  
！

相  
談  
し  
て、  
相  
談  
し  
て、